



天瀬

Amagase



防 災の備えはできていますか？

6月5日、出水期を前に天瀬町総合防災訓練が行われた。全地区を対象とした防災ラジオによる情報伝達訓練のあと、午前9時からは天ヶ瀬温泉街及び湯ノ釣地区を対象とした避難訓練と避難所設営訓練を実施。会場の天瀬公民館には訓練参加者が49人集まり、令和2年7月豪雨災害を教訓に、真剣な面持ちで段ボールベッド等の設営に取り組んでいた。

満 開のバラに魅せられて

5月下旬、五馬市にあるローズヒルあまがせのバラが満開になり、見頃を迎えた。ハウスの中で約300品種、2,000株以上のバラが美しく咲き誇る。赤やピンク、黄色に白などの色とりどりのバラやつるバラのアーチを前に、訪れた人たちはその美しさに魅せられていた。気品ある柔らかなバラの香りに癒されつつ、写真撮影をするなど、初夏のひとつときを楽しんだ。

前津江

Maetsue



挨 拶の大切さを確かめ合った対面式

5月18日、前津江小・中学校・公民館をリモートでつなぎ、「あいさつ運動対面式」を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響によって2年間中止だったが、今年はオンラインではあるものの、対面式を実現。あいさつ運動推進会長は、「このような形でも開催できて良かった」と挨拶した。参加した小・中学生と地元住民は、「あいさつ」の大切さを改めて実感していた。

伝 統技術を紡ぐ、屋根葺き講習会

5月16日、大野本村で屋根葺きのワークショップが開かれた。今回行われたのは、「杉皮葺き」と呼ばれる茅の上に杉皮をかぶせて屋根を葺く方法。全国各地から集まった約30人が作業を分担し、杉皮を切り揃える人、切った杉皮を屋根に取り付ける人、取り付けたあとに専用道具を使ってきれいに揃える人等、みんなが手際良く作業をしていた。完成後の屋根を楽しみにしたい。



日田

Hita



子 供たちにとっての“ひなた”の場所に…

5月11日、児童家庭支援センター「陽」の開所式が執り行われた。同センターは、子供と家庭の相談に応じる専門的な相談機関として、相談員・心理担当職員が子供や家庭の困りごとについて一緒に考え、解決に向けてのお手伝いをする場所。「陽」という名前には、子供たちや地域の皆さんにとっての“ひなた”の場所になるようにという意味が込められている。

晴 天の下、伝統の茶摘みを体験

5月7日、南部中学校の約70年続く恒例行事「茶摘み」が、学校裏の陣ヶ原に広がる茶畑で行われた。新型コロナウイルス感染症の影響によって、保護者や地域住民も一緒に参加するのは3年振り。今年は「茶リンピック～僕らのお茶でコロナ禍を乗り越えよう～陣ヶ原の乱」というテーマのもと、生徒たちはクラスマッチ形式で摘んだ量を競いながら、楽しくも真剣に茶摘みに励んでいた。



最 初の1ページ！本との出会いひろば

5月26日、絵本や読み聞かせを楽しむイベント「本との出会いひろば」が、ひのくま子育て支援センターで開催された。就学前の子供とその保護者、総勢93人が参加。100冊以上の絵本の展示や年齢に合った絵本の紹介などが行われ、子供たちは思い思いにページをめくっていた。子供と保護者が一緒になってゆったりと絵本に親しんでもらう時間となった。

日 田の魅力発信！新キャンペーンレディ就任

5月11日、市役所で開かれた「2022水郷ひたキャンペーンレディ委嘱式」。日田川開き観光祭をはじめとする様々なイベントに参加し、市のPR活動を行うキャンペーンレディに就任した機能愛美さん(写真左)と川津一紗さん(写真右)は、着物に身を包み、「日田の魅力を発信したい」と語った。また、2年間の任期を終えたキャンペーンレディへの感謝状贈呈も行われ、新任の2人に禪が渡された。